

吉川育英会だより

～友の会（OB会）会員からの近況報告～

Vol.9

シュレスタ プリティ(ネパール)
所属 九州産業大学大学院



～後輩へ一言～
「吉川育英会での体験は
かけがえのないもの、楽しんで！」

● 吉川育英会での思い出と近況報告

● 吉川育英会との出会い

私は2016年6月に吉川育英会と出会えたことは私の人生で決して忘れられないものになりました。海を越えてきた私に2年間支援をして頂き、本当に心から感謝しております。吉川育英会に私のことを奨学金生として認めて頂き、いい大学生活を送ることができました。吉川育英会のお陰で、学部生の時の授業態度は非常に良く、単位を取得することはもちろん、その学習意欲は高く評価されていました。また、時間に余裕が作れ、留学生の友人だけではなく、日本人の友人もたくさん作ることが出来、充実した学生生活を送ることが出来ました。

● わくわくする集い

毎日の集いは私にとって一つの遊びになったと思っております。普段、学校とアルバイトという生活でしたが、月一回だけ皆さんに会えることは何よりもワクワクすることでした。毎月の集いの時副社長からの私たちを気遣うような挨拶に心から感動しております。ここまで心配してくれる人はなかなかいないと思っております。

● 大学とは違う学び

月々の奨学金生の発表で自分がさせて頂いたことは大学の勉強とあまり関係がなくても、大学内で学べない勉強になっていると思います。いろいろな話をしながら、食事会や昼食を食べることは何よりも最高のことでした。また、なかなか留学生が体験出来

● 大学での活動について

大学2年生の時九電産業さんと手を組んで、ネパールコーヒーをプロモーションと販売をしていました。プロモーションと販売のため、現地調査に行ったり、様々な仮説を立てて九州産業大学内に職員さんにまず試飲と販売をしていました。また、2016年6月に行われたライオンズクラブの世界大会の時福岡マリメッセにブースを出して、コーヒー試飲と販売もしていました。

● 最後に

最後に、奨学金生の皆さん、吉川育英会の2年間の集いは一瞬で終わり、悲しい別れになると思っていますので、この集いは人生で二度ともないと思って、楽しく過ごして下さい。きっと、この集いはあなたたちにとって掛けがえのない経験になるはずです。



九州大学正門前で



ライオンズクラブ世界大会にて



吉川育英会 お別れの会

曹 秋 (中国)
福岡大学大学院 卒業



～後輩へ一言～
「初心忘るべからず」

● 育英会の思い出と近況報告

● 育英会と出会う前

私は大学院に入る前、学部研究生として福岡大学で勉強しました。毎日、バイトと学校だけです。地域イベントとか国際交流イベントなどを参加する余裕もほぼありませんでした。なぜなら、大学院に入るため貯金しなければなりません。バイトはかなり大変なので、腰とかの調子も悪くなりました。大学院に入ったら、こんな大変なバイトを続けるなんて無理だと思いました。そのため、毎日、心配が続きました。

● 育英会での思い出

大学院ではすぐに奨学金を探し始めました。色々な種類がありますが、育英会に決めた理由は、毎月留学生の集いがあることです。ただの銀行振込より、いいと思いました。このような高額な奨学金をいただけるなんて、いまでも夢のようです。そのおかげで、きついバイトをやめることができました。何より、大事なものは勉強に集中し、たくさんの専門知識もしっかりと学べることです。本当に生活面で助かったと思っています。ありがたく思っています。

そして、もう一つは毎月の集いで一緒に奨学金をいただいている各国の留学生と知り合って、仲良くできたことです。福岡市付近に住んでいるみんなはプライベートで食事も行ったりもしています。また企業の見学とか、バイキングとか、色々なイベントがあります。奨学金をいただいて、こんな面白いイベントに参加できるのはほんとうに幸せです！

● 卒業後

今年の4月、社会人として福岡市で働き始めました。リスティング広告をメインとした企画仕事です。周りはほぼ日本人ですので、ビジネス日本語を学べる大きなチャンスです。最初は大変なことがいっぱい慣れていませんが、1ヶ月経ってから、やっとよくなりました。緊張感が消えて、仕事の面白さを少しずつ感じています。

それは、大学で学んだこと、そして、育英会の皆様との交流を通して、いただいた様々な意見のおかげです。日本に来て、そろそろ五年になります。初心を忘れずに、一步一步進んでいくように心掛けています。



日本語学校の後輩と旅行



入社前の新人歓迎会

